

令和元年度

第2回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和2年3月17日(火)13:30～15:40
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 7名
平野吾郎会長 小杉達副会長 芹澤拙夫委員
日比野秀男委員 坪井俊三委員 加藤理文委員
中山正典委員
事務局 8名
(増田千次郎委員、鈴木敬雄委員、西田かほる委員は欠席)
村松教育長・高梨文化財課長・村松課長補佐兼管理グループ
長・竹内主幹兼調査グループ長・木村歴史文書館長・室内・
石津・佐口 (市川教育部長 欠席)
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事
 - 1 開会
 - 2 教育長あいさつ
 - 3 審議事項

(1) 文化財保存活用地域計画の策定について

[事務局からの説明]

- ・地域計画本文について、10月30日に文化庁地域創生本部に出向き指導をうけてきた。本日は指導内容にそって修正したものである。
- ・文化庁の指針には、地域計画策定の際には、地域計画協議会を設置し、地方文化財審議会の意見徴収を行うことになっている、本日は文化庁指針に沿って、意見をうかがうものである。
- ・来年度は、再度文化庁との協議を行い、協議会を立ち上げ、メンバー策定を行う。
- ・国の審議会で審議を行い文化庁長官が認定するという流れになる、国の職員を磐田に招聘して、現状を見せながら説明をする予定である。
- ・前回の審議会委員の皆様から指摘のあった舟形集落、茅葺民家、古民家についての項目を追加している。
- ・図版については、来年度国庫補助で、業務委託する予定である。一般の方が見てもわかりやすい図版を作りたいと考えている。

〔主な質問・意見〕

(日比野委員) 第6章の文化財の保存・活用に関する措置の方針3に「市民へのアピール」という項目があるが、逆に「市民からのアピール」というものも欲しいと。市内に、文化財の保存・活用に関わる民間団体がいくつかあるが、そのような団体の集合体や団体が集まる機会を作ったほうがよい。後継者がいなくなるところもある、連携や情報交換ができる場を作ったほうがよいと思う。この地域計画が、市からの上から目線にならないよう、市民の意見をきくスタンスもほしい。

(事務局) 来年設置する協議会には、民間団体の長を入れる。そのような方に参加してもらい地域計画がより充実したものになるようにする。

(中山委員) 県の保存活用大綱との関係はどうなっているのか。

(事務局) 県の大綱については、県がパブリックコメントを実施したので目を通してはいるが、具体的な内容ではない。大綱に反する内容でなければよいと考えている。

(中山委員) まちづくり法や国交省や経産省との関連で助成金をもらうような整備・活用はあるのか。

(事務局) 歴史まちづくり法で認定するような大規模なハード整備ではなく、今後の文化財の方向性を定める計画である。

(中山委員) この計画に景観保全の考え方はあるのか。

(事務局) 景観保全のことは、理解になかった。磐田市の場合、茶畑の風景やしらす漁の風景などがあるが、人間が継続してその景観を維持する努力が必要となると、指定が難しいかなと考えている。

(小杉委員) 文化を伝えるためには、子供に伝えることが必要。お祭りが一番良い。子供達が、地域の文化に触れて地域の特徴を知る、というような言葉がどこかに盛り込めないか。

(事務局) 計画の方針3のところに、市民へのアピールという項目のところに、盛り込んでいきたい。

(2) 指定案件について

① 府八幡宮古彫刻群

〔事務局からの説明〕

- ・ 府八幡宮には県指定1件、市指定8件がある。今回の指定案件は、王舞の面1面、神像4体、狛犬1体、獅子頭1体である。神像は既に指定されている3体と制作技法、年代ほぼ一緒と考えられる。これらについては令和元年12月2日に日比野委員に確認をさせていただいている。

〔日比野委員からの説明〕

府八幡宮で指定されている神像に、(昭和37年指定の) 僧形八幡神像

と女神像2体の3体がある。当時は良いものだけをとりあげて文化財指定されている。お面や狛犬や獅子頭などは、痛んでいる部分もあり指定からはずれたようだ。しかし、指定されていないからといって捨てられてしまう可能性を考えると、今の時点でできるだけ救い上げて将来わかるようにしてほしい。今回の案件を1つずつ指定するのは難しいが、古い彫刻をまとめて「府八幡宮彫刻群」で指定することでよいと思う。数量ははっきり示しておいてほしい。これで八幡宮に残るものが整理されるのでまとめて彫刻群を市指定にしたらどうでしょうか。

〔主な質問・意見〕

(平野会長) これでだいたい府八幡宮で持っているものはほぼ全てか。

(日比野委員) コンクリート造りの宝蔵の中を何回か見たし、本殿のほうも見ている。たぶんこれで終わりだと思う。これ以外のものはずっと新しいものなので、これでよいと思う。

(小杉副会長) 獅子頭が非常に良い。大きくて平べったいのが特徴のようだ。行道の先頭をこの獅子が歩いたと思う。神像は、神仏習合を表す非常に貴重なものだと思う。

(加藤) 1点凄いものだけを指定という報告でなく、まとめて群として指定しようという方向はよい。散逸する危険性を考えても一括指定でよいと思う。

(中山) 件数としてはどうなるのか。

(日比野) 彫刻群で1件。1件の中に7点の資料があるという考え方で。

(平野会長) 既に指定されているものはそのまま。

(日比野) そのままでよい。

(平野会長) 次の審議会で答申を出していくようにしますか。

(事務局) そのようにすすめます。

➡次回文化財保護審議会にて答申の予定で作業をすすめる。

②堂山3号墳・堂山4号墳

〔事務局からの説明〕

- ・磐田原台地の東南部の堂山古墳群の古墳である。
- ・3号・4号ともに旧来、地域の墓地として使われていた場所であり、市の管理地であった。3号墳に関しては発掘調査の結果、一辺24mの方墳であること、葺石が4面ともに残存していること、主体部は不明であることがわかっている。4号墳に関しては、墳丘は未調査であり、周溝を一部発掘調査したが、墳形は不明である。

- ・ 3号墳は、県内最大の古墳にして畿内型の前方後円墳である堂山古墳に直結する古墳と考えられる。
- ・ 3号墳の発掘調査は保存前提の学術調査として実施、調査後は盛り土を施し保存している。東面は葺石復元をしている。
- ・ 3号墳も4号墳も墳丘が良好に残存、市の管理地である、堂山古墳に直結する時期の古墳であると考えられることから、市指定候補としていきたい。

〔平野会長〕

堂山古墳はかつて東部小学校を建築する際、学校造成土として使用するために墳丘の大半を壊したため、主体部も残っていない。現在、あれだけの古墳に手をつければ、考えられないことだが、昭和31年当時は、調査をすればいいだろうという考え方だったため、壊れてしまった。今でも、文化財保存運動の際に悪い事例として挙げられてしまう古墳である。発掘調査の結果、大きな埴輪棺や大量の鉄製品が出土し、この地域の一番核になる古墳であることがわかった。3号墳に関しては周辺が区画整理されているがよく残したと感心している。直接堂山古墳と絡む。近くに駅もでき、歩いてみてもらうにもよい。残念なのは、整備で復元した葺石が芝で見えなくなっていること。葺石が見えれば、古墳とはこういうものだと見せることができる。これだけの古墳が残っているのであれば、ぜひ指定をかけておきたい。

〔主な質問・意見〕

(加藤委員) 市有地なら問題がない、堂山古墳との関わりをもっている古墳であれば、指定にもって行ってよい。4号墳は墳形がはっきりしないということなら、余力があればトレンチを入れて形だけでも確定させたらどうかと思うが、指定には賛成。

(平野会長) 欲を言えば、4号墳と年代と形はどこかでつかんでおきたい。しかし、街中でよく残っているし、これ以上壊れることはなさそうというのであれば、そっとしておこうという一つの考えもある。

➡次回文化財保護審議会にて答申の予定で作業をすすめる。

4 報告事項

①無形民俗文化財市指定無形民俗文化財映像記録化事業について

〔事務局説明〕

- ・芸術文化振興会の助成金を使っての池田やかた祭りの映像記録化を、市単独事業での賀茂神社特殊神饌の映像記録化を行った。
- ・委員の皆様それぞれのDVDをお配りした。
- ・DVDの短縮版を上映。

②市指定文化財の修理について〔事務局説明〕

- ・遠江秋鹿家関係資料（床几）1点と秋鹿朝重奉納絵馬1点の計2の修理を行った。いずれも伊豆屋伝八文化振興財団からの助成をもらって実施した。

③特別史跡遠江国分寺跡整備事業について〔事務局説明〕

- ・今年度は講堂・僧房の復元についての実施設計、指定地公有地化事業を行った。建物基壇の復元に使う木材については、今の技術で一番腐りにくく長持ちするという、木材に液体ガラス処理を施した素材を考えている。現在、指定地内の樹木整備も行っている。
- ・現国分寺の薬師堂内にあった薬師如来について、年代測定調査を行った結果、速報で、薬師如来に使ったヒノキの伐採年が1512～1533年の間ということがわかった。16世紀前半に伐採されたということで、当時、見付端城にいた堀越氏延との関連が推定できる。国分寺とかかわりのある資料ということで、今後も調査をしていく。
- ・また、新中学1年生に国分寺の副読本を配布していく。

④県指定天然記念物善導寺大クスについて〔芹澤委員〕

- ・磐田駅前の開発に伴って2006年に大クスの調査を行った。
- ・その後10年ほどたち、駅前の工事の内容も当初と変わったことで、クスの木も上のほうがまばらになり葉の量が少なくなった。2018年の台風によるダメージも大きかった。
- ・土壌改良工事によって樹勢回復をはかっている。根を切って調査も行った。
- ・根を切って調査したところ衰退しているものや枯死しているものがあつた。下の土壌が粘土の場合浸透しないため水が浸って腐ってしまう。対応として完熟牛糞堆肥も入れている。土も良いものを選んでいれており、根の状態は良くなっている。
- ・土壌改良工事は5年計画の3年目が終了した。あと2年かけて回復工事をしていく。

⑤文化財啓発事業について〔事務局からの説明〕

- ・令和元年度下半期の啓発事業の報告をした。
- ・御厨駅オープン記念のイベントで長江崎遺跡について紹介するブースを出す予定であったが、イベントが新型コロナの影響で中止となった。池田やかた祭りDVD上映会も同様に中止となった。

⑥文化財調査実績について〔事務局からの説明〕

- ・令和元年度下半期の調査実績の報告をした。
- ・土蔵調査報告書は3月末に印刷・発行の予定である。
- ・市指定文化財の熊野絵巻について、県の文化財保護審議会委員の視察があった。
- ・東部幼稚園の改築に伴う野際遺跡の確認調査では、敷地の2/3程度に遺跡の分布が認められ、古墳時代後期から奈良時代の遺跡と考えられる。今後2ケ年かけて本発掘調査を実施する予定である。

⑦その他

- ・旧見付学校について、今年度と来年度の2ケ年をかけて保存活用計画の策定を予定している。今年度は資料収集のための作業を実施している。今年度の調査結果を踏まえ、来年度、国や文化財保護審議会の建造物担当の委員に指導をおおぎながら策定をすすめていきたい。

以上